

### 1. 実況上の着目点

- ① 前線が黄海～西日本～東日本～日本の東にのびている。前線近傍や暖域の西日本を中心に、所々で非常に激しい雨を解析し、雷を検知。広島県では局地的に猛烈な雨を観測。
- ② 500hPa 5940m付近の高気圧に対応する地上の高気圧が日本の南にほとんど停滞。西～東日本では、①の前線の影響の小さい地域は晴れて気温が上がり、猛暑日となっている所がある。
- ③ シアーラインが、アムール川下流付近の低気圧から日本海にのびている。対応する下層雲が



主要じょう乱解説図

日本海北部を東進。また、北海道地方では、強い風が吹き、波が高くなっている所がある。

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の前線は、本州付近では15日夜までに不明瞭化する。一方、1項②の高気圧は、17日にかけて日本の南にほとんど停滞する。西～東日本では17日にかけて、晴れて気温が上昇し、猛暑日となる所がある。熱中症などの健康管理に注意（熱中症警戒アラート参照）。前線へ向かう下層暖湿気や高気圧縁辺の下層暖湿気、日中の昇温の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。西～東日本では17日にかけて、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。南西諸島と西～東日本では17日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項③のシアーラインが、15日夜にかけて北海道地方を通過する。17日は、500hPa 5640m付近の強風軸に対応する前線を伴う低気圧が、日本海北部から千島近海へ進み、500hPa 5820m付近の強風軸に対応する別の前線が、黄海から日本海や東北地方を通過して日本の東にのびる。前線や低気圧に向かう下層暖湿気と上空寒気の影響で大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴い激しい雨や非常に激しい雨が降って大雨となる所がある。西～北日本の日本海側では17日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。北日本では15日と17日は、西～東日本では17日は、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。また、シアーラインや低気圧、前線の近傍では、強い風が吹いて波が高くなる所がある。北海道地方では17日にかけて、強風や高波に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

**4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。

② 波浪(明日まで)：北海道3m。

③ 高潮(明日まで)：東～北日本では、注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 発表の予定はない。